

【資料紹介】

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

—新潟県を事例に—

早川 大介

The financial database of local savings banks
in the Meiji-Taisho period

—A case study on Niigata Prefecture—

Hayakawa, Daisuke

はじめに

1 新潟県下の貯蓄銀行と基礎資料の概要

2 各貯蓄銀行の概要と財務データベース

(1) 新潟貯蓄銀行

(2) 三条貯金銀行

(3) 新潟貯蔵銀行

(4) 村上貯蓄銀行

(5) 大和川貯蓄銀行 (以上, 第193号)

(6) 新発田貯蓄銀行

(7) 柏崎貯金銀行

(8) 吉田貯蓄銀行

(9) 高田貯蓄銀行

(10) 小須戸貯蓄銀行

(11) 中越貯金銀行

(12) 葛塚貯蓄銀行

(13) 長岡貯蓄銀行

3 「貯蓄銀行法」の施行と普通銀行への転換

おわりに

2 各貯蓄銀行の概要と財務データベース

(6) 新発田貯蓄銀行（北蒲原郡新発田町）

新発田貯蓄銀行は、1897年9月、北蒲原郡新発田町に資本金5万円で設立され、11月に開業した。設立の経緯は、同地において庶民金融機関の必要性が高まったことによるもので、地主や有力商人であった新発田銀行、中条共立銀行の役員が中心となった。当初預金は順調に伸びていたが、1906年に取付によるものか理由は判明しないが預金が激減した。その翌年には、三田村を除く役員を一新し、地主の佐藤友右衛門が取締役で筆頭株主となり同行の経営の実権を握り、同年10万円に倍額増資した。資金運用は一貫して貸付金中心であったが、情実貸出による延滞も多く、1910年代前半には配当は5%、純利益は2000円台で、粉飾によるタコ配当も行われていたという。その後、1915年上期には、銀行側の株式の追加払込通知に対して疑念を抱いた株主側との紛議が続き、同年中には取付騒ぎにまで発展し預金は激減した。佐藤ら役員は、私財提供により新潟貯蓄銀行からの資金借入をおこない、預金支払に充当したが依然負債が超過しており再建を断念し、佐藤謙之輔ら相互信用無尽合資会社（新潟市）の役員らが経営再建することとなった。その後、1919年6月に資本金を10万円から3万円に減資し、11月に50万円に増資し、12月に新潟市に移転し本店を移し、商号も「新潟貯金銀行」と変更し再出発を図った¹。それに伴って経営陣も一新され、佐藤謙之輔を筆頭に新潟相互無尽の役員が中心となり、新発田貯蓄銀行の関係者は三田村信之助（太郎の四男）のみであった。1919年時点では預金はなかったが、その後順調な伸びを示したが、競合銀行の多い新潟市にあって貯蓄預金は伸びず、比率としては小さかった。資金運用は依然として貸付中心であった。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第17表 新発田貯蓄銀行主要勘定

単位：円

			資本金		積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	利益金	配当率
			払込	貯蓄預金										
2期	1898年	上	50,000	30,000	—	—	17,400	9,559	39,759	2,387	3,410	2,348	830	5.0%
3期		下	50,000	30,000	—	5,500	34,140	16,338	63,104	4,171	—	4,344	2,227	8.0%
4期	1899年	上	50,000	30,000	600	—	51,408	23,110	70,488	5,825	3,500	4,705	3,388	8.0%
5期		下	50,000	40,000	1,600	6,850	82,189	40,320	119,301	10,175	—	8,869	3,456	8.0%
6期	1900年	上	50,000	50,000	2,600	5,850	90,614	46,986	141,354	11,980	—	7,036	4,083	8.0%
7期		下	50,000	50,000	4,100	7,000	116,845	54,064	150,042	14,848	5,000	11,529	4,699	9.0%
8期	1901年	上	50,000	50,000	5,600	3,000	124,066	50,641	156,064	14,238	—	15,256	5,339	9.0%
9期		下	50,000	50,000	6,600	4,000	134,154	54,731	168,422	17,534	—	12,234	5,571	9.0%
10期	1902年	上	50,000	50,000	7,600	—	149,139	51,614	170,361	17,614	1,530	21,159	6,342	8.0%
11期		下	50,000	50,000	8,600	8,500	172,808	56,912	204,889	18,000	—	19,949	4,905	8.0%
12期	1903年	上	50,000	50,000	9,600	12,000	179,303	53,774	216,392	15,465	—	20,839	4,328	8.0%
13期		下	50,000	50,000	10,600	14,000	176,870	55,045	216,052	15,147	—	21,871	3,751	8.0%
14期	1904年	上	50,000	50,000	11,600	10,000	190,081	63,152	221,330	16,526	—	25,314	4,022	8.0%
15期		下	50,000	50,000	12,500	—	181,373	61,136	202,304	16,865	—	25,563	3,063	8.0%
16期	1905年	上	50,000	50,000	13,000	19,000	162,207	54,315	201,370	18,974	—	24,969	3,179	8.0%
17期		下	50,000	50,000	13,500	5,000	160,329	54,724	188,011	20,538	—	20,958	3,184	8.0%
18期	1906年	上	50,000	50,000	14,000	25,000	148,016	—	183,669	21,563	—	31,658	2,541	7.0%
19期		下	50,000	50,000	14,200	—	194,709	78,795	191,649	25,743	10,000	20,591	2,535	7.0%
20期	1907年	上	50,000	50,000	14,500	—	223,218	—	225,106	—	—	—	2,478	7.0%
21期		下	100,000	62,500	14,900	—	227,793	—	251,300	—	—	—	2,760	7.0%
22期	1908年	上	100,000	62,500	15,100	—	222,842	—	271,004	—	—	—	2,456	7.0%
23期		下	100,000	75,000	15,300	—	236,316	—	266,945	—	—	—	2,768	7.0%
24期	1909年	上	100,000	75,000	15,500	—	238,693	—	282,542	—	—	—	3,390	7.0%
25期		下	100,000	75,000	15,800	20,000	257,663	100,321	305,984	34,536	—	30,591	3,274	7.0%
26期	1910年	上	100,000	75,000	16,100	—	268,311	—	307,568	—	—	—	3,439	7.0%
27期		下	100,000	75,000	16,400	—	311,702	—	306,716	—	—	—	2,845	7.0%
28期	1911年	上	100,000	75,000	16,600	—	329,346	—	309,436	—	—	—	2,360	5.0%
29期		下	100,000	75,000	16,800	—	340,175	151,050	324,113	—	—	—	2,488	5.0%
30期	1912年	上	100,000	75,000	17,000	389	357,505	—	339,664	—	—	—	2,596	5.0%
31期		下	100,000	75,000	17,000	5,000	374,620	156,243	344,477	62,298	—	57,429	2,202	5.0%
32期	1913年	上	100,000	75,000	17,400	36,000	357,329	138,270	363,523	—	—	—	2,293	5.0%
33期		下	100,000	75,000	17,400	—	357,329	—	363,523	—	—	—	2,224	5.0%
34期	1914年	上	100,000	75,000	17,600	—	308,125	—	358,795	—	—	—	2,439	5.0%
35期		下	100,000	75,000	17,800	—	287,532	—	339,949	—	—	—	2,181	5.0%
37期	1915年	下	100,000	75,000	—	—	71,962	—	222,347	—	—	—	—	—
1919年12月新潟貯金銀行と改称														
45期	1919年	下	500,000	147,500	—	11,350	—	—	36,250	—	—	113,917	▲3,163	—
46期	1920年	上	500,000	147,500	—	—	88,133	—	187,888	3,000	31,501	4,832	▲2,702	—
47期		下	500,000	147,500	—	25,000	142,161	9,662	280,467	6,000	—	12,360	3,727	3.2%
49期	1921年	下	500,000	147,500	2,050	—	241,931	—	443,260	8,127	—	69,877	—	—

出所：「決算広告」各期。

第18表 新発田貯蓄銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
三田村太郎	北蒲原郡佐々木村	取締役	取締役		地主, ▲新発田銀行(監)
高橋幾次郎	北蒲原郡中条町	取締役			雑貨商, ▲中条共立銀行(監)
小川五郎次	北蒲原郡水原町	取締役			地主
阿部康介	北蒲原郡葛塚村	取締役			地主・酒造業, ▲葛塚貯蓄銀行(取)
登坂岩内	北蒲原郡新発田町	専務取締役			質屋, ▲新発田銀行(監)
田辺久藏	北蒲原郡堀越村	専務取締役			地主, 代議士, ▲新発田銀行(取)
伊藤伝吉	北蒲原郡新発田町	専務取締役			
五十嵐石蔵	北蒲原郡笹岡村	監査役	取締役		地主
古山藤太郎	北蒲原郡新発田町	監査役			太物商, ▲新発田銀行(監)
荒井彦太郎	北蒲原郡新発田町	監査役			清酒醸造
佐藤八十二	北蒲原郡川東村		取締役		
佐藤友右衛門	北蒲原郡水原村		取締役		
荒井勳三	北蒲原郡新発田町		取締役		
登坂良平	北蒲原郡新発田町		監査役		
加藤熊太郎	北蒲原郡新発田町		監査役		
石井銀太	北蒲原郡新発田町		監査役		
佐藤謙之輔	南蒲原郡新潟村			取締役	●信用相互無尽(社長)
涌井慎一郎	新潟市			取締役	
柳良吉	中魚沼郡吉田村			取締役	
三田村信之助	北蒲原郡佐々木村			取締役	三田村太郎の四男
高橋平右衛門	西蒲原郡燕町			取締役	
高橋捨松	南魚沼郡六日町			取締役	
佐野八十一	南蒲原郡三条町			取締役	
山田健治郎	中頸城郡新道村			監査役	
矢口敏夫	南魚沼郡塩沢村			監査役	
佐藤長蔵	新潟市			監査役	
石崎清助	中蒲原郡新津町			監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回，第29回。

第19表 新発田貯蓄銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	1,000	67	弦巻良孝(56)	田辺久藏(40)	小川五郎次(40)
1906年	1,000	69	弦巻良孝(56)	田辺久藏(40)	小川五郎次(40)
1910年	2,000	86	佐藤友右衛門(120)	三田村太郎(100)	荒井勳三(100)
1912年	2,000	90	佐藤友右衛門(120)	三田村太郎(100)	荒井勳三(100)
1914年	2,000	90	佐藤友右衛門(120)	三田村太郎(100)	荒井勳三(100)

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

(7) 柏崎貯金銀行 (刈羽郡柏崎町)

柏崎貯金銀行は、1898年6月7日、刈羽郡柏崎町に資本金5万円で設立された。柏崎銀行(1882年に設立された厚信社を再編)の役員であった牧口義方、牧口吉重郎、二宮伝右衛門、前田忠兵衛が創立時に役員に就任しており、柏崎銀行の貯蓄部門として設立されたと考えられる²。両行の中心となった牧口家(刈羽郡荒浜村)は、同地を代表する大地主・資産家であり、義方の父莊三郎は山口家(権三郎・達太郎親子、刈羽郡小国村)とともに日本石油の設立に関わり、「浜の牧口、山の山口」とならび称されていた³。その後、1899年に両行の頭取であった牧口義方の死去にともなって、柏崎銀行頭取は一時山口達太郎が勤めた後、義方の長男義矩が継承した。柏崎貯金銀行は義方の次男賢祐、高野誠亮が専務取締役として経営を担っていたが、その後前沢順四郎が専務取締役となった。両銀行ともに筆頭株主は牧口義矩であったが、1912年からは牧口に代わって前沢順四郎が筆頭株主となり、1910年には柏崎銀行が貯蓄銀行業務に参入し、所有と経営の点からみて柏崎貯金銀行は柏崎銀行一牧口家から独立する傾向にあったと考えられる。同行の資金調達を中心は貯蓄預金であり、1910年代前半までは順調な伸びを示し、1909年末には県下で第10位の預金残高であったが、柏崎銀行が貯蓄業務に参入したこともあり、第一次大戦期には預金は停滞した。資金運用は一貫して貸付金を中心であった。

第20表 柏崎貯金銀行主要勘定

単位：円

期	資本金	払込	積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	現金・ 預け金	純益金	配当率		
						貯蓄預金							
1期	1898年	下	50,000	40,000	—	—	…	…	323	29,660	1,117	5.0%	
3期	1899年	下	50,000	50,000	300	—	71,740	…	101,619	15,732	4,974	…	
7期	1901年	下	50,000	50,000	1,550	…	159,089	…	…	…	…	…	
9期	1902年	下	50,000	50,000	1,750	…	164,470	…	…	…	2,163	7.5%	
10期	1903年	上	50,000	50,000	2,550	…	164,319	…	181,809	…	2,296	7.5%	
11期		下	50,000	50,000	2,750	…	164,471	…	170,036	…	2,282	7.5%	
12期	1904年	上	50,000	50,000	2,950	…	181,146	…	198,450	…	2,235	7.5%	
13期		下	50,000	50,000	3,150	…	180,821	…	289,991	…	2,128	7.5%	
15期	1905年	下	50,000	50,000	3,500	—	196,943	122,213	210,440	35,929	4,319	8.0%	
16期	1906年	上	50,000	50,000	3,700	…	216,242	…	225,722	…	2,446	8.0%	
17期		下	50,000	50,000	3,900	—	252,862	157,606	222,136	46,394	38,514	2,510	8.0%
18期	1907年	上	50,000	50,000	4,100	…	307,638	…	302,377	…	2,471	8.0%	
19期		下	50,000	50,000	4,300	—	313,875	…	301,049	58,686	8,864	2,421	8.0%
20期	1908年	上	50,000	50,000	4,500	…	341,502	…	327,383	…	2,401	8.0%	
21期		下	50,000	50,000	4,700	—	338,785	231,820	326,453	60,415	7,592	2,949	8.0%
22期	1909年	上	50,000	50,000	4,750	…	399,955	…	382,749	…	3,140	8.0%	
23期		下	50,000	50,000	5,550	…	428,985	…	408,319	…	3,406	8.0%	
24期	1910年	上	50,000	50,000	6,550	…	432,561	…	415,889	…	2,949	8.0%	
25期		下	200,000	87,500	7,050	—	455,111	296,371	439,621	84,239	26,239	4,515	8.0%
26期	1911年	上	200,000	87,500	7,750	…	515,969	…	508,694	…	4,551	8.0%	
27期		下	200,000	87,500	8,450	—	526,034	324,416	505,124	101,884	19,062	4,560	8.0%
28期	1912年	上	200,000	87,500	9,200	…	584,498	…	573,967	…	4,643	8.0%	
29期		下	200,000	87,500	10,000	—	574,461	369,910	554,269	102,379	17,475	5,939	8.0%
30期	1913年	上	200,000	87,500	10,800	…	368,532	…	484,194	…	3,194	8.0%	
31期		下	200,000	110,000	11,600	55,000	383,676	231,631	450,758	115,235	20,617	4,745	4.2%
32期	1914年	上	200,000	125,000	12,400	…	385,930	…	457,559	…	4,341	5.0%	
33期		下	200,000	125,000	13,700	…	397,574	…	466,545	…	3,789	6.0%	
34期	1915年	上	200,000	125,000	13,700	…	390,756	…	460,047	…	5,634	5.2%	
35期		下	200,000	125,000	14,200	…	332,231	…	415,558	…	4,169	5.2%	
37期	1916年	下	200,000	125,000	15,200	—	335,728	…	330,949	80,175	3,995	7.0%	
40期	1918年	上	200,000	125,000	16,700	…	429,180	…	367,360	…	4,192	5.5%	
42期	1919年	上	200,000	125,000	17,700	…	558,249	…	455,827	…	7,960	6.0%	
45期	1920年	下	200,000	200,000	19,800	…	735,553	…	700,437	…	11,581	8.0%	
46期	1921年	上	200,000	200,000	20,800	…	738,378	…	709,251	…	9,086	8.0%	

出所：柏崎貯金銀行『営業報告書』第37期、「決算広告」各期。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第21表 柏崎貯金銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
牧口賢祚	刈羽郡荒浜村	専務取締役	取締役		牧口義方の子、義矩の弟
高野誠亮	刈羽郡田尻村	専務取締役	取締役		地主
前田忠兵衛	刈羽郡柏崎町	取締役	取締役	取締役	縮布卸商、○●柏崎銀行(監)
片桐秀治	刈羽郡田尻村	取締役	取締役	取締役	
今井茂作	刈羽郡柏崎町	取締役	取締役		地主
牧口吉重郎	刈羽郡荒浜村	取締役			地主
二宮伝右衛門	刈羽郡柏崎町	取締役			地主、呉服太物商
吉田孝太郎	刈羽郡柏崎町	監査役	監査役		
須崎栄三	刈羽郡比角村	監査役	監査役		地主
大矢長左衛門	刈羽郡比角村	監査役	監査役		地主
伊原六郎	刈羽郡西中通村	監査役			
前沢順四郎	刈羽郡田尻村		専務取締役	取締役	
牧口与一	刈羽郡荒浜村		取締役		地主、牧口吉重郎の長男
星野与三郎	刈羽郡西中通村			取締役	地主
瀬下新造	刈羽郡枇杷島村			取締役	
山田文右衛門	刈羽郡田尻村			監査役	
朝倉文助	刈羽郡柏崎町			監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回，第29回。

第22表 柏崎貯金銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	2,000	302	牧口義矩 (119)	片桐秀治 (57)	前田忠兵衛 (55)
1906年	2,000	292	牧口義矩 (119)	大矢長左衛門 (60)	片桐秀治 (59)
1907年	2,000	288	牧口義矩 (119)	大矢長左衛門 (60)	片桐秀治 (59)
1908年	2,000	287	牧口義矩 (119)	大矢長左衛門 (60)	
1910年	4,000	309	牧口義矩 (375)	前沢順四郎 (133)	片桐秀治 (128)
1911年	4,000	309	牧口義矩 (375)	前沢順四郎 (133)	片桐秀治 (128)
1912年	4,000	322	前沢順四郎 (155)	尾崎敬三郎 (145)	前田忠兵衛 (121)
1913年	4,000	312	前沢順四郎 (159)	前田忠兵衛 (121)	星野与三郎 (115)

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

(8) 吉田貯蓄銀行（西蒲原郡吉田町）

吉田貯蓄銀行は、1899年12月3日、西蒲原郡吉田町に資本金3万円で設立され、年が明けて1900年1月5日開業した。専務取締役（後に頭取）には、西蒲原郡の大地主である今井孫市が就任し、一貫して今井家当主（10代目孫市・11代目フユ（孫市の娘））が筆頭株主の地位にあった⁴。銀行の実務は木綿商の木部孫作が行っていた⁵。同行の資金調達は今井家の信用を背景にしながら貯蓄預金を中心に預金を順調に伸ばし、資金運用はほぼ一貫して貸出が中心であり、米商人に対する商品担保金融、特産の白木綿に対する融資も行われたという⁶。今井家は、同行とは別に1900年2月に合資会社今井銀行（出資金5万円）を設立しており、日露戦後に貸付金が一時停滞した際には同行に預け金を行っていたと考えられる。

(9) 高田貯蓄銀行（中頸城郡高田町）

高田貯蓄銀行は、1899年12月、中頸城郡高田町に資本金5万円で設立された。設立の中心となったのは、初代頭取となる大滝伝十郎をはじめとする高田周辺の地主であった。高田には百三十九銀行があり、日露戦争後には多数の銀行支店が高田に設立されたこともあって預金は第一次大戦期でも30万円に届かない水準で停滞しており、貯蓄預金比率も一貫して30%未満であった。運用面では、貸付金が中心であったが、預金が伸び悩んだこともあって第一次大戦期には多額の借入金に依存していた。同行の経営はほぼ一貫して不振であり、1907年から1912年は毎期欠損が続いたことから、1913年1月の株主総会で、10万円の資本金を5万円に減資して欠損を穴埋めし、同年下期には再び10万円に増資している⁷。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第23表 吉田貯蓄銀行主要勘定

単位：円

			資本金		積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率
				払込				貯蓄預金						
1期	1899年	上	30,000	7,500	—	—	14,747	10,732	9,737	2,800	5,200	3,856	▲ 579	—
2期		下	30,000	15,000	—	4,100	24,137	20,122	44,377	9,620	—	1,746	623	—
3期	1900年	上	30,000	22,500	—	—	49,242	27,141	54,801	9,620	2,716	5,516	1,146	6.6%
9期	1903年	上	100,000	58,000	5,350	…	87,861	…	127,376	…	…	…	7,380	8.0%
10期		下	100,000	68,500	7,150	…	94,713	…	130,025	…	…	…	4,006	8.0%
11期	1904年	上	100,000	68,500	8,450	…	82,828	…	105,370	…	…	…	3,693	8.0%
12期		下	100,000	68,500	9,250	…	82,154	…	100,101	…	…	…	3,404	8.0%
13期	1905年	上	100,000	68,500	9,650	…	89,720	…	87,168	…	…	…	4,079	8.0%
14期		下	100,000	68,500	10,700	11,000	87,136	65,319	122,129	42,376	13,780	…	5,180	8.0%
16期	1906年	下	100,000	68,500	14,000	…	114,365	88,208	121,534	37,955	35,638	…	…	8.0%
17期	1907年	上	100,000	68,500	16,400	…	145,434	…	129,938	…	…	…	…	8.0%
18期		下	100,000	68,500	8,800	…	140,483	…	147,262	42,144	32,625	…	…	…
20期	1908年	下	100,000	68,500	15,031	630	137,840	102,274	121,106	42,625	49,343	…	…	…
22期	1909年	下	100,000	68,500	15,950	…	125,076	89,827	120,594	64,003	21,206	…	…	…
24期	1910年	下	100,000	68,500	5,650	…	129,056	81,958	88,231	65,328	48,355	…	1,954	4.0%
26期	1911年	下	100,000	68,500	7,050	…	127,144	…	156,032	…	…	…	…	…
28期	1912年	下	100,000	79,000	8,050	7,000	132,784	98,682	158,300	56,228	10,787	…	…	…
29期	1913年	上	100,000	79,000	8,450	…	129,557	…	137,127	…	…	…	2,727	5.0%
30期		下	100,000	79,000	9,150	12,002	142,918	104,808	173,352	60,386	6,674	…	3,619	5.0%
31期	1914年	上	100,000	79,000	10,350	26,150	141,649	…	199,403	51,727	—	5,990	3,583	5.0%
32期		下	100,000	79,000	11,550	35,000	146,874	103,614	207,513	50,351	—	12,454	3,307	5.0%
34期	1915年	下	100,000	79,000	14,300	6,000	157,151	108,165	192,746	50,857	12,834	…	5,065	6.0%
35期	1916年	上	100,000	79,000	6,900	…	152,955	…	181,616	49,079	…	…	4,337	6.6%
36期		下	100,000	79,000	8,200	…	180,075	94,306	184,298	49,807	29,326	…	4,686	6.6%
37期	1917年	上	100,000	79,000	10,200	…	165,745	…	190,872	…	…	…	4,081	6.6%
40期	1918年	下	100,000	89,500	18,331	…	378,212	236,291	275,872	148,300	53,725	…	4,082	6.6%
41期	1919年	上	100,000	100,000	14,200	…	426,936	…	243,784	…	…	…	5,195	7.0%
42期		下	100,000	100,000	15,500	109,916	465,807	…	415,826	254,900	15,567	…	…	…
43期	1920年	上	100,000	100,000	9,771	…	445,530	…	411,761	…	…	…	8,211	8.0%
44期		下	100,000	100,000	10,000	…	536,756	…	370,376	…	…	…	…	…
46期	1921年	下	100,000	100,000	20,600	…	458,289	…	452,924	…	…	…	…	…

出所：「決算広告」各期。

第24表 吉田貯蓄銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
今井孫市	西蒲原郡吉田村	専務取締役	頭取		地主, ▲○今井銀行(理事)
木部孫作	西蒲原郡吉田村	専務取締役	専務取締役	取締役	役員専任
霜島直	西蒲原郡米納津村	取締役	取締役	専務取締役	地主
富所平三郎	西蒲原郡米納津村	取締役			
野神太三郎	西蒲原郡米納津村	監査役			地主
田中元蔵	西蒲原郡吉田村	監査役			木綿商
幸田寅治	西蒲原郡吉田村		取締役	取締役	米穀商
今井忠作	西蒲原郡吉田村		取締役	取締役	今井家分家, ●今井銀行(取)
浜田佐源治	西蒲原郡米納津村		監査役	監査役	
今井竹次郎	西蒲原郡吉田村		監査役	監査役	今井家分家, ○●今井銀行(監)
近藤多千代太	西蒲原郡吉田村			取締役	
草野佐一郎	西蒲原郡米納津村			取締役	
今井静治	西蒲原郡吉田村			取締役	
池田元吉	西蒲原郡米納津村			監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回，第29回。

第25表 吉田貯蓄銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	1,000	65	今井孫市(337)	霜島直(98)	前山多次郎(43)
1906年	1,000	64	今井孫市(337)	霜島直(98)	前山多次郎(43)
1907年	1,000	80	今井孫市(337)	前山多次郎(43)	田中元蔵(40)
1908年	1,000	82	今井孫市(304)	田中元蔵(40)	
1909年	1,000	83	今井孫市(304)	田中元蔵(40)	浜田佐源治(35)
1910年	1,000	82	今井孫市(205)	田中元蔵(40)	浜田佐源治(35)
1911年	1,000	—	今井孫市(205)	田中元蔵(40)	浜田佐源治(35)
1912年	1,000	83	今井孫市(205)	田中元蔵(40)	浜田佐源治(35)
1913年	1,000	81	今井孫市(205)	霜島直(53)	田中元蔵(40)
1914年	1,000	82	今井孫市(205)	霜島直(53)	田中元蔵(40)
1915年	1,000	82	今井孫市(205)	霜島直(53)	
1916年	1,000	82	今井孫市(205)	霜島直(53)	田中元蔵(40)
1917年	1,000	—	今井孫市(217)	霜島直(53)	浜田佐源治(35)
1918年	1,000	83	今井孫市(211)	霜島直(53)	
1919年	1,000	81	今井フユ(217)	霜島直(53)	浜田佐源治(35)

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第26表 高田貯蓄銀行主要勘定

単位：円

		資本金		積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率
			払込				貯蓄預金						
7期 1903年	上	100,000	80,000	3,100	…	160,000	…	148,000	…	…	…	5,500	9.0%
8期	下	100,000	90,000	3,123	…	225,189	…	240,244	…	…	…	5,800	10.0%
10期 1904年	下	100,000	100,000	4,233	…	202,335	…	271,285	…	…	…	5,407	9.0%
12期 1905年	下	100,000	100,000	4,533	…	238,132	…	301,079	…	…	…	4,533	9.0%
14期 1906年	下	100,000	100,000	5,433	…	256,675	…	293,458	…	…	…	5,233	5.0%
15期 1907年	上	100,000	100,000	5,483	20,000	235,304	77,241	257,788	55,633	1,600	11,149	▲18,695	—
16期	下	100,000	100,000	5,483	5,000	234,149	74,800	208,760	52,338	2,502	6,683	▲11,304	—
17期 1908年	上	100,000	100,000	5,483	8,000	231,491	66,000	220,221	51,606	2,523	6,423	1,743	—
18期	下	100,000	100,000	—	—	251,772	66,732	230,260	54,233	9,393	—	—	—
19期 1909年	上	100,000	100,000	—	5,000	250,010	66,719	237,866	54,547	…	…	—	—
20期	下	100,000	100,000	—	3,000	258,708	57,316	238,913	51,339	2,010	14,458	—	—
21期 1910年	上	100,000	100,000	—	…	254,698	…	252,439	…	…	…	—	—
22期	下	100,000	100,000	—	2,000	268,907	55,985	253,541	47,144	6,110	8,667	—	—
23期 1911年	上	100,000	100,000	—	…	285,387	…	272,872	…	…	…	—	—
24期	下	100,000	100,000	—	—	296,781	58,429	282,628	44,894	12,004	—	—	—
25期 1912年	上	100,000	100,000	—	…	304,979	…	…	…	…	…	733	—
26期	下	100,000	100,000	—	—	316,569	64,315	282,863	39,757	2,059	8,007	—	—
27期 1913年	上	50,000	50,000	100	20,000	296,193	55,000	283,533	…	2,643	11,470	328	—
28期	下	100,000	62,500	100	18,700	224,949	49,884	288,361	37,484	11,564	—	805	6.0%
29期 1914年	上	100,000	75,000	200	23,800	268,475	43,956	…	36,391	9,584	—	888	6.0%
30期	下	100,000	85,987	—	24,500	257,898	40,500	288,202	35,239	12,574	—	914	6.0%
31期 1915年	上	100,000	86,500	320	…	250,460	…	288,215	…	…	…	1,109	6.0%
32期	下	100,000	86,875	385	23,700	253,090	36,951	285,817	35,311	1,497	9,125	1,204	6.0%
33期 1916年	上	100,000	87,062	450	…	249,361	…	284,064	…	…	…	1,249	6.0%
34期	下	100,000	87,062	515	13,376	239,979	…	267,112	24,036	1,496	12,793	1,224	6.0%
35期 1917年	上	100,000	87,200	575	…	253,312	…	276,222	…	…	…	1,131	6.0%
36期	下	100,000	99,313	640	—	258,290	44,140	269,661	24,966	12,157	16,218	1,301	6.0%
37期 1918年	上	100,000	99,487	710	…	259,875	…	272,678	…	…	…	1,617	6.0%
39期 1919年	上	100,000	100,000	840	—	293,137	65,937	273,151	39,855	25,010	19,273	891	3.0%
40期	下	100,000	100,000	885	—	333,803	77,060	279,575	45,000	65,010	17,223	881	3.0%
41期 1920年	上	100,000	100,000	930	…	286,644	…	302,097	…	…	…	759	3.0%
42期	下	100,000	100,000	975	…	310,121	…	300,536	43,610	37,372	—	833	3.0%
44期 1921年	下	100,000	100,000	1,065	…	269,977	…	275,688	43,610	11,855	14,877	▲54	—

出所：高田貯蓄銀行『営業報告書』第40期、「決算広告」各期。

第27表 高田貯蓄銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
大滝伝十郎	中頸城郡旭村	取締役会長	会長	会長	地主、○成資銀行(頭取)
三館一郎次	中頸城郡高田町	常務取締役			
豊田三吉	中頸城郡高城村	取締役			
草間俊治	中頸城郡柿崎村	取締役			
小田仁作	中頸城郡中吉川村	取締役			
上田三吉	中頸城郡高田町	取締役			
橋本祐次郎	中頸城郡高田町	監査役	監査役		
田中哲二	中頸城郡旭村	監査役			
竹内栄吉	中頸城郡高田町	監査役			
小林清次郎	中頸城郡高田町	監査役			
田中謙吾	中頸城郡下黒川村		常務取締役		
渡辺勉	中頸城郡里五十公野村		取締役		
前田貞斉	東頸城郡牧村		取締役		
富永虎太郎	中頸城郡美守村		取締役		
山本嘉太郎	中頸城郡旭村		監査役		
下村英太郎	中頸城郡米山村		監査役		
布施国治	中頸城郡明治村			監査役	
長崎政太郎	中頸城郡島坂村			取締役	
西条要	東頸城郡牧村			取締役	
平石甚衛	中頸城郡明治村			常務取締役	○高田商業銀行(取)
白井信治郎	中頸城郡柳池村			監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回，第29回。

第28表 高田貯蓄銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1906年	2,000	288	成資銀行(374)	岡村嘉平治(70)	草間文作(51)
1907年	2,000	—	成資銀行(374)	渡辺勉(70)	草間文作(51)
1908年	2,000	270	成資銀行(414)	渡辺勉(70)	
1909年	2,000	272	成資銀行(414)		
1911年	2,000	—	成資銀行(373)		
1912年	2,000	—	成資銀行(374)		
1913年	2,000	269	大滝伝十郎(269)	平井六之助(60)	富永虎太郎(60)
1914年	2,000	278	大滝伝十郎(214)	前田貞斉(88)	
1915年	2,000	280	大滝伝十郎(164)	前田貞斉(88)	
1916年	2,000	—	大滝伝十郎(164)	前田貞斉(88)	
1917年	2,000	288	大滝伝十郎(164)	前田貞斉(88)	大滝昌二(80)
1918年	2,000	—	大滝伝十郎(246)	前田貞斉(88)	大滝昌二(80)
1919年	2,000	250	大滝伝十郎(300)	前田貞斉(88)	大滝昌二(80)
1920年	2,000	—	大滝伝十郎(320)	前田貞斉(88)	大滝昌二(85)

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

(10) 小須戸貯蓄銀行 (中蒲原郡小須戸町)

小須戸貯蓄銀行は、1900年6月、中蒲原郡小須戸町に資本金3万円で設立され、10月に開業した。設立に際しては小須戸町の有力者であった川村亀太郎が中心となり、川村と「越後の石油王」と呼ばれた中野貫一の長男忠太郎⁸が一貫して取締役をつとめ、ともに有力株主であった。資金調達を中心は貯蓄預金であり、預金残高は第一大戦期まで10万円台で規模こそ小さかったが順調に伸びていった。資金運用は第一次大戦期までは貸付金を中心であったが、融資に対して慎重であったことから、小須戸の有力商人のなかには新津や白根の銀行を利用するものがあったという。第一次大戦期には有価証券と預け金が資金運用の中心となり、預け金は第四銀行に預入られていた⁹。

(11) 中越貯金銀行 (長岡市)

中越貯金銀行は、1900年9月、古志郡長岡町 (1906年4月市制施行) に資本金15万円で設立され、11月に開業した¹⁰。設立経緯は不明であるが、役員には、専務取締役にも沢幸次郎、取締役にも牧口義矩、清水常作が就任し、彼らが株主の上位を占めた。すでに長岡では六十九・長岡銀行が貯蓄部を設置したこともあり当初から貯蓄預金比率は低く、一貫して30%程度であった。その一方で新潟と柏崎に支店を開設し積極的に預金吸収を行い、1909年には県下で第7位の預金残高となった。そして預金の1割にも達する借入金を一貫しておこない、資金運用は専ら貸付金を中心であった。こうした積極的な経営をおこなっていたが、1912年12月に新潟支店で「急激なる取付に逢ひたる為め支払停止の悲境に陥り」、年が明けて1月4日には「帳簿整理の名の下に向ふ二週間の臨時休業を発表」した。その後、「帳簿を整理し欠損金の幾分を重役に負担せしめ」、3月15日に営業を再開し、預金の一部を払い戻していたが、17日に破産命令が出され、4月7日の臨時総会で解散が決定した¹¹。なお中越貯金銀行の店舗・什器は六十九銀行に譲渡され、同行の関東町支店となった¹²。

第29表 小須戸貯蓄銀行主要勘定

単位：円

年	資本金		積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率		
		払込				貯蓄預金								
1期	1900年	下	30,000	7,500	—	—	13,337	6,411	15,762	1,800	1,694	1,291	▲81	—
2期	1901年	上	30,000	7,500	—	—	20,671	8,086	14,972	4,816	5,000	4,047	▲68	—
3期		下	30,000	7,500	—	1,000	17,678	8,233	18,420	4,024	—	3,141	372	8.0%
4期	1902年	上	30,000	10,800	—	—	25,367	12,761	27,867	5,592	258	3,197	524	8.0%
5期		下	30,000	15,000	550	4,000	26,975	15,715	33,280	9,115	—	3,423	1,198	8.0%
6期	1903年	上	30,000	15,000	1,250	5,000	32,525	18,709	44,550	6,740	—	1,223	1,099	8.0%
7期		下	30,000	21,000	1,650	5,000	38,054	22,005	56,779	6,720	—	3,364	1,223	8.0%
8期	1904年	上	30,000	21,000	2,100	—	43,824	24,882	53,007	8,377	—	4,613	1,307	8.0%
9期		下	30,000	21,000	2,500	6,000	41,350	24,250	59,555	9,573	—	3,419	1,509	8.0%
10期	1905年	上	30,000	21,000	3,000	—	51,677	29,581	54,256	13,427	—	6,225	1,562	8.0%
11期		下	30,000	21,000	3,550	8,500	48,921	25,333	62,676	15,510	—	4,991	1,986	8.0%
12期	1906年	上	30,000	21,000	4,350	2,000	46,948	22,081	57,852	13,084	—	3,982	2,133	8.0%
13期		下	30,000	21,000	5,400	—	66,022	29,675	69,748	15,477	7,943	—	2,093	8.0%
14期	1907年	上	30,000	21,000	6,200	—	91,313	39,445	88,477	15,144	10,000	7,139	1,978	8.0%
15期		下	30,000	21,000	7,150	5,000	98,009	46,496	101,262	21,997	—	9,488	2,354	8.0%
16期	1908年	上	30,000	21,000	8,100	—	105,698	48,295	90,841	22,132	14,000	8,138	1,671	8.0%
17期		下	30,000	30,000	8,800	5,000	92,874	51,908	100,549	28,419	—	10,694	2,219	8.0%
19期	1909年	下	30,000	30,000	10,500	—	121,414	59,002	131,092	21,007	12,469	—	2,515	8.0%
20期	1910年	上	30,000	30,000	11,500	…	122,184	…	120,531	…	…	…	2,890	8.0%
21期		下	30,000	30,000	12,500	—	131,390	76,064	129,501	27,532	3,000	12,246	3,534	8.0%
22期	1911年	上	30,000	30,000	13,700	—	134,309	72,814	115,949	43,472	8,500	9,459	3,392	8.0%
23期		下	30,000	30,000	14,200	15,000	128,325	80,033	136,789	40,532	200	10,331	3,477	8.0%
24期	1912年	上	100,000	47,500	15,200	—	132,702	75,565	142,175	40,532	3,028	10,138	2,648	8.0%
25期		下	100,000	47,500	16,400	11,000	124,879	70,709	152,177	38,612	—	11,384	4,424	8.0%
26期	1913年	上	100,000	47,500	17,600	—	139,010	76,835	140,714	37,412	18,000	10,550	3,286	8.0%
27期		下	100,000	47,500	18,300	5,000	124,513	76,234	144,529	27,020	—	16,805	4,714	8.0%
28期	1914年	上	100,000	47,500	19,000	3,000	128,759	83,245	150,076	35,862	—	13,573	5,084	8.0%
29期		下	100,000	47,500	20,000	—	130,834	85,321	159,565	35,372	—	11,725	5,260	8.0%
30期	1915年	上	100,000	47,500	21,000	5,000	130,726	84,043	158,387	36,550	—	11,092	5,392	8.0%
31期		下	100,000	47,500	22,000	—	159,018	91,917	159,565	33,550	20,000	16,362	3,625	8.0%
32期	1916年	上	100,000	47,500	23,100	—	163,476	94,848	162,130	35,280	29,733	16,131	3,424	8.0%
33期		下	100,000	47,500	24,200	—	175,665	83,896	166,155	39,780	22,700	16,795	3,523	8.0%
34期	1917年	上	100,000	47,500	25,200	—	206,259	125,767	192,139	49,073	30,100	15,264	3,138	8.0%
35期		下	100,000	47,500	26,200	—	238,411	100,015	167,370	58,233	77,140	34,361	3,116	8.0%
36期	1918年	上	100,000	47,500	27,200	—	301,747	…	178,206	78,928	110,623	—	3,308	8.0%
37期		下	100,000	47,500	28,300	—	405,663	…	201,028	124,874	156,057	—	3,266	8.0%
38期	1919年	上	100,000	47,500	29,300	—	440,979	…	193,823	173,860	157,282	38,543	3,751	8.0%
39期		下	100,000	47,500	30,500	—	505,746	298,025	283,740	155,131	80,067	49,933	3,942	8.0%
41期	1920年	下	100,000	47,500	33,250	—	652,073	…	214,991	…	…	…	5,237	10.0%
42期	1921年	上	100,000	47,500	35,000	—	776,908	…	232,530	163,240	365,496	27,343	11,236	10.0%

出所：小須戸貯蓄銀行『営業報告書』第39期、「決算広告」各期。

第30表 小須戸貯蓄銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
川村亀太郎	中蒲原郡小須戸町	専務取締役	専務取締役	専務取締役	地主、質屋
中野忠太郎	中蒲原郡津島町	取締役	取締役	取締役	中野貫一の長男
加藤藤八	中蒲原郡小須戸町	取締役			地主、織物小売商
田中常平	中蒲原郡小須戸町	監査役	取締役		醤油醸造業
小林由兵衛	中蒲原郡小須戸町	監査役			醤油販売業
井上四代松	中頸城郡小須戸町		監査役	監査役	
小林由松	中頸城郡小須戸町		監査役		
田中徳七	中蒲原郡小須戸町			取締役	
川田良太	中蒲原郡小須戸町			監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回，第29回。

第31表 小須戸貯蓄銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	600	46	川村亀太郎 (100)	石付豊太郎 (55)	加藤藤八 (30)
1906年	600	45	川村亀太郎 (100)	小林由松 (35)	田中常平 (30)
1907年	600	43	川村亀太郎 (100)	小林由松 (65)	中野忠太郎 (70)
1908年	600	42	川村亀太郎 (100)	中野忠兵衛 (70)	
1909年	600	42	川村亀太郎 (100)	中野忠太郎 (70)	小林由松 (45)
1910年	600	44	川村亀太郎 (100)	中野忠太郎 (70)	小林由松 (45)
1911年	600	44	川村亀太郎 (100)		
1912年	2,000	53	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	小林由松 (120)
1913年	2,000	52	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	
1914年	2,000	51	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	小林由松 (123)
1915年	2,000	—	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	中野忠一 (113)
1916年	2,000	51	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	中野忠一 (113)
1917年	2,000	50	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	中野忠一 (136)
1918年	2,000	50	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	中野忠一 (136)
1919年	2,000	49	川村亀太郎 (334)	中野忠太郎 (300)	中野忠一 (136)
1920年	2,000	—	中野興業株式会社 (516)	川村亀太郎 (334)	

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

第32表 中越貯金銀行主要勘定

単位：円

年	資本金		積立金	借入金	預金計	諸貸付金		有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率		
	払込	貯蓄預金												
3期	1901年	下	150,000	37,500	—	—	53,785	15,136	61,201	11,645	7,090	2,210	206	—
4期	1902年	上	150,000	37,500	—	1,500	67,048	18,068	85,217	10,240	3,460	7,669	1,523	5.6%
5期		下	150,000	37,500	315	6,300	107,157	34,712	122,307	10,452	13,283	3,502	2,010	5.6%
6期	1903年	上	150,000	75,000	665	25,500	132,512	50,833	149,237	22,473	11,560	5,276	2,336	5.6%
7期		下	150,000	75,000	815	14,500	174,573	48,717	138,735	37,573	20,560	5,270	3,431	7.0%
8期	1904年	上	150,000	75,000	975	22,800	209,639	61,224	242,733	38,143	10,595	7,491	3,326	7.0%
9期		下	150,000	75,000	1,135	20,300	209,734	70,636	242,733	40,320	16,824	9,769	3,553	7.6%
10期	1905年	上	150,000	75,000	1,335	26,800	230,636	82,077	273,783	43,852	10,314	10,148	4,673	8.0%
11期		下	150,000	75,000	2,129	26,200	241,022	94,663	282,047	49,433	7,435	11,648	6,097	8.0%
12期	1906年	上	150,000	75,000	4,751	32,100	278,636	...	319,135	58,277	6,657	12,962	7,881	8.0%
13期		下	150,000	75,000	8,109	38,300	397,667	126,421	444,541	54,182	9,057	17,596	3,355	8.0%
14期	1907年	上	150,000	112,500	8,756	65,000	503,610	...	609,551	55,596	10,165	18,720	8,023	8.0%
15期		下	150,000	112,500	9,944	60,500	481,069	...	570,400	53,617	30,520		2,376	8.0%
16期	1908年	上	150,000	112,500	12,321	73,300	470,977	...	569,800	60,006	11,053	18,670	8,138	8.0%
17期		下	150,000	112,500	7,511	38,000	526,680	161,585	577,755	65,986	11,564	27,096	13,188	8.0%
18期	1909年	上	150,000	150,000	14,716	44,500	546,243	...	632,235	78,641	15,575	24,113	9,927	8.0%
19期		下	150,000	150,000	11,914	45,500	552,019	165,289	641,224	77,884	14,537	26,626	9,312	8.0%
20期	1910年	上	150,000	150,000	21,101	...	560,547	...	645,902	6,646	7.0%
21期		下	150,000	150,000	22,234	56,000	585,820	183,740	672,323	79,090	19,663	33,265	5,628	7.0%
22期	1911年	上	150,000	150,000	21,880	49,000	477,500	...	595,917	77,433	12,587	14,684	5,427	5.0%
23期		下	150,000	150,000	22,463	41,000	456,869	...	606,827	79,567	11,522	24,177	5,858	5.0%
24期	1912年	上	150,000	150,000	23,065	75,000	427,572	...	581,059	79,427	26,291		5,290	5.0%
25期		下	150,000	150,000	21,915	82,800	468,964	199,944	625,749	77,479	8,592		▲5,239	—
26期	1913年	上	150,000	150,000	—	—	350,867	142,267	404,942	52,555	86,860		—	—
27期		下	150,000	150,000	—	—	130,719	44,110	161,362	39,785	16,229		—	—
28期	1914年	上	150,000	150,000	—	—	14,201	4,625	97,545	12,717	4,263		—	—

出所：中越貯金銀行『営業報告書』、『決算広告』各期。

第33表 中越貯金銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	備考
小沢幸次郎	長岡市	専務取締役	取締役	小沢七三郎(船持商人)の次男 ▲六十九銀行(取), 柏崎銀行(取) ▲石田銀行(理事) 荒物商 煙草商 米穀肥料商
小山茂三郎	長岡市	専務取締役		
清水常作	長岡市	取締役	取締役	
吉村文四郎	長岡市	取締役		
牧口義矩	刈羽郡荒浜町	取締役		
石田友吉	南蒲原郡加茂町	取締役		
志賀定七	長岡市	監査役	監査役	
小林三五郎	長岡市	監査役		
川上佐太郎	長岡市	監査役		
原吉郎	刈羽郡杷島村		取締役	
内田三省	長岡市		取締役	
山田又七	長岡市		監査役	

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回，第19回。

第34表 中越貯金銀行主要株主

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	3,000	61	小沢幸次郎(887)	牧口義矩(389)	清水常作(200)
1906年	3,000	82	小沢幸次郎(644)	牧口義矩(339)	清水常作(200)
1907年	3,000	99	小沢幸次郎(439)	牧口義矩(315)	清水常作(200)
1908年	3,000	114	小沢幸次郎(439)	清水常作(200)	
1909年	3,000	122	小沢幸次郎(439)	清水常作(200)	牧口義矩(115)
1910年	3,000	—	小沢幸次郎(439)	清水常作(200)	遠藤為八(178)
1911年	3,000	—	小沢七三郎(207)		

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

(12) 葛塚貯蓄銀行（北蒲原郡葛塚町）

葛塚貯蓄銀行は、1900年11月、北蒲原郡葛塚町の地主で酒造業を営んでいた阿部康介の一族と周辺の醸造業者が中心となって資本金3万6000円で設立され、翌1901年3月開業した¹³。役員、上位株主には阿部康介、良作がほぼ一貫して名を連ねていた。資金調達・運用の特徴をみると、1914年以降は不明であるが、貯蓄預金の比率は一貫して30%程度であった。同行は、1908年3月に沼垂銀行葛塚支店が開設されるまでは、同地唯一の金融機関であり、普通預金も一手に扱っていた。葛塚は明治期から交通の要衝であり、新潟からの船便が同地を經由して陸路で新発田、村上を経て東北へ向っていた。しかしながら、1914年の村上線（新津一村上間）の開通により葛塚は停滞し、葛塚貯蓄銀行の預金も伸び悩んだ。資金運用では、貸付金を中心であるが、第一次大戦期には預貸率が低下しており、有価証券、預け金の運用が増えたものと考えられる。

(13) 長岡貯蓄銀行（長岡市）

長岡貯蓄銀行は、1917年12月に資本金50万円で長岡市に設立され、翌1918年3月に開業した。同行は、「貯蓄銀行条例」の下で新潟県において最後に設立された専門貯蓄銀行である。長岡周辺では長岡、六十九銀行が兼営を行っていたこともあって、中越貯蓄銀行の解散後専門貯蓄銀行は設立されなかった。その後数年間は長岡には専門貯蓄銀行が存在せず、長岡市の有力者のなかで貯蓄銀行設立の機運が高まり設立に至った¹⁴。同行の設立には長岡信託の役員多く関わっており、麻島昭一によれば普通銀行・貯蓄銀行の関係者が信託会社に関わるのは一般的であるが、その逆は非常に希であるという¹⁵。同行の貯蓄銀行としての営業期間は僅かであるが、1919年、1920年に相次いで与板支店（三島郡与板町）、宮内支店（古志郡上組村）を開設したことにより預金は順調に伸び、借入金にも依存しながら資金運用は貸付金を中心であった。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第35表 葛塚貯蓄銀行主要勘定

単位：円

年末	資本金		積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率		
		払込				貯蓄預金								
1期	1901年	上	36,000	9,000	—	—	17,744	2,819	14,179	1,005	6,500	4,872	20	—
2期		下	36,000	9,000	—	4,000	20,086	5,124	26,394	3,115	—	3,994	612	8.0%
3期	1902年	上	36,000	18,000	50	—	30,018	7,451	33,391	4,142	7,000	4,206	830	8.0%
4期		下	36,000	18,000	100	3,000	39,007	9,968	41,196	4,622	6,047	7,569	1,173	8.0%
5期	1903年	上	36,000	27,000	300	2,000	33,407	10,669	50,604	3,641	5,131	2,883	1,528	8.0%
6期		下	36,000	27,000	750	—	41,642	11,848	51,500	4,303	6,135	5,862	1,476	8.0%
7期	1904年	上	36,000	36,000	1,000	—	34,727	11,184	56,223	3,657	6,648	5,370	2,219	8.0%
8期		下	36,000	36,000	1,500	—	45,261	13,672	62,582	3,922	8,952	2,374	2,800	8.0%
9期	1905年	上	36,000	36,000	2,100	—	37,880	11,924	61,399	4,651	4,302	5,784	2,182	8.0%
10期		下	36,000	36,000	1,700	6,000	33,245	10,240	66,390	6,078	…	…	2,086	8.0%
12期	1906年	下	36,000	36,000	2,700	—	54,223	13,819	58,623	6,469	5,049	4,829	2,705	8.0%
13期	1907年	上	36,000	36,000	3,500	—	57,721	…	80,710	…	…	…	1,544	8.0%
14期		下	36,000	36,000	3,800	5,000	64,322	…	86,347	10,504	…	…	2,387	8.0%
16期	1908年	下	50,000	36,500	4,600	4,936	61,383	…	95,010	10,759	…	…	…	…
18期	1909年	下	50,000	50,000	5,500	10,254	77,210	21,265	123,299	10,081	…	…	2,339	8.0%
19期	1910年	上	50,000	50,000	6,000	…	84,795	…	118,675	…	…	…	2,695	8.0%
20期		下	50,000	50,000	6,550	…	95,598	…	142,964	…	…	…	3,679	8.0%
22期	1911年	下	50,000	50,000	8,450	4,000	124,214	32,103	165,264	13,446	…	…	3,036	8.0%
23期	1912年	上	50,000	50,000	9,000	16,806	119,513	31,825	168,920	14,998	5,151	6,348	4,557	8.0%
24期		下	50,000	50,000	9,000	12,786	117,732	30,044	168,920	15,473	5,098	6,431	5,175	8.0%
25期	1913年	上	50,000	50,000	10,100	15,906	95,863	17,428	159,648	15,145	5,058	5,195	4,665	8.0%
26期		下	50,000	50,000	10,600	10,500	101,439	27,968	150,868	14,824	…	…	3,219	8.0%
28期	1914年	下	50,000	50,000	11,800	…	101,152	…	153,174	…	…	…	3,340	8.0%
29期	1915年	上	50,000	50,000	12,400	…	98,623	…	137,502	…	…	…	2,307	8.0%
30期		下	50,000	50,000	13,000	…	109,224	…	153,391	…	…	…	3,507	8.0%
31期	1916年	上	50,000	50,000	13,700	…	105,756	…	150,599	…	…	…	2,297	8.0%
32期		下	50,000	50,000	14,400	…	126,496	…	157,439	…	…	…	3,523	8.0%
33期	1917年	上	50,000	50,000	14,800	…	126,652	…	155,576	…	…	…	3,160	8.0%
34期		下	50,000	50,000	15,800	…	173,829	…	146,827	…	…	…	3,116	8.0%
35期	1918年	上	50,000	50,000	16,500	…	203,551	…	151,910	…	…	…	2,670	8.0%
37期	1919年	上	50,000	50,000	18,100	—	262,488	…	119,855	75,996	133,197	7,877	2,831	8.0%
38期		下	50,000	50,000	18,800	—	379,601	86,144	155,060	86,996	180,823	32,583	3,292	8.0%
39期	1920年	上	100,000	62,500	20,000	…	345,304	…	179,244	…	…	…	3,660	8.0%
40期		下	100,000	62,500	20,200	…	346,176	…	213,093	…	…	…	…	…
41期	1921年	上	100,000	62,500	20,600	…	332,950	…	192,606	…	…	…	3,121	8.0%
42期		下	100,000	62,500	21,100	…	317,431	…	228,371	…	…	…	…	…

出所：葛塚貯蓄銀行『営業報告書』第38期、「決算広告」各期。

第36表 葛塚貯蓄銀行役員変遷

氏名	住所	1900年	1910年	1920年	備考
市島次太郎	北蒲原郡嘉山村	取締役	取締役	取締役	質屋, 味噌醸造業
阿部康介	北蒲原郡葛塚村	取締役	取締役	取締役	地主・清酒醸造業, ▲新発田銀行(取)
阿部恒三郎	北蒲原郡亀浦村	取締役	取締役	専務取締役	醤油醸造業(阿部康介の分家)
弦巻良孝	北蒲原郡葛塚村	取締役			清酒醸造業
高橋慎次郎	北蒲原郡天神塚村	監査役	監査役	監査役	地主
佐藤修太郎	北蒲原郡嘉山村	監査役	監査役	監査役	地主
阿部良作	北蒲原郡葛塚村	監査役	監査役	監査役	染料販売業(阿部康介の分家)
弦巻林太郎	北蒲原郡葛塚村		取締役	取締役	
常木総七	北蒲原郡葛塚村		取締役	専務取締役	地主

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第9回, 第19回, 第29回。

第37表 葛塚貯蓄銀行主要役員

年末	総株数	株主数	株主(株数)		
1905年	720	85	阿部康介(80)	阿部良作(63)	弦巻良孝(50)
1906年	720	86	阿部康介(80)	阿部良作(63)	阿部恒三郎(40)
1907年	720	81	阿部康介(80)	阿部良作(63)	弦巻林太郎(55)
1908年	1,000	91	阿部康介(100)	阿部良作(65)	
1909年	1,000	91	阿部康介(100)	阿部良作(65)	弦巻林太郎(45)
1911年	1,000	88	阿部康介(100)	阿部良作(65)	弦巻林太郎(45)
1912年	1,000	86	阿部康介(100)	阿部良作(65)	弦巻林太郎(45)
1913年	1,000	87	阿部康介(100)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1914年	1,000	—	阿部康介(100)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1915年	1,000	—	阿部康介(100)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1916年	1,000	—	阿部康介(100)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1917年	1,000	—	阿部康介(110)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1918年	1,000	—	阿部康介(110)	阿部良作(65)	高橋慎次郎(41)
1919年	1,000	95	阿部康介(110)	橋本唯吉(47)	高橋慎次郎(41)
1920年	2,000	—	阿部康介(220)	阿部恒三郎(80)	高橋慎次郎(82)

出所：東京興信所『銀行会社要録』各年版。

注：1910年は掲載なし。

第38表 長岡貯蓄銀行主要勘定

単位：円

		資本金		積立金	借入金	預金計	諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金	配当率
			払込									
4期 1919年	下	500,000	125,000	0	85,415	737,018	815,720	61,000	…	…	2,950	5.0%
5期 1920年	上	500,000	249,937	550	118,212	750,042	904,493	65,415	…	…	22,839	8.0%
6期	下	500,000	250,000	6,300	20,362	971,858	1,054,344	79,150	56,818	…	25,511	8.0%
7期 1921年	上	500,000	400,000	14,800	237,016	1,526,138	…	125,900	64,819	…	…	…

出所：各期「決算広告」。

注：1期～3期は欠。

第39表 長岡貯蓄銀行役員 (1920年末)

氏名	住所	役職	備考
小川清之輔	長岡市	専務取締役	地主
川上佐次郎	長岡市	常務取締役	
山口健造	長岡市	取締役	地主、肥料・酒類商
覚張半四郎	長岡市	取締役	地主
小坂伝之助	長岡市	取締役	醤油醸造業
池田忠蔵	長岡市	取締役	呉服太物商
松本喜之七	長岡市	取締役	家具商
鷲尾徳之助	長岡市	監査役	製油・肥料商
田村豊太郎	長岡市	監査役	紙商、長岡銀行(監)
遠藤清平	長岡市	監査役	弁護士・地主

出所：商業興信所『日本全国諸会社役員録』第29回。

第40表 長岡貯蓄銀行主要株主 (1920年末)

株主	株数
覚張治平	600
山崎和吉	600
松本喜之七	600
株式会社大橋本店	500
小川清之輔	500
総株数	10,000

出所：東京興信所『銀行会社要録』第25版。

3 「貯蓄銀行法」の施行と普通銀行への転換

1921年4月に「貯蓄銀行法」が制定された。「貯蓄銀行法」では、①最低資本金が3万円から50万円へ引き上げられ、②普通銀行との兼営が禁止され（分業主義）、③取扱預金が厳密に定義され、④資金運用が厳しく制限された。同法の施行は1922年1月であり、期日までにこの基準をクリアするために全国の貯蓄銀行は短期間で大規模な再編を余儀なくされた¹⁶。

1920年末時点で資本金50万円に達していたのは、新潟県下では新潟市の新潟貯蓄銀行、新潟貯蔵銀行、新潟貯金銀行、長岡市の長岡貯蓄銀行の4行のみであり、残りの銀行は単独で存続するのであれば増資するか普通銀行への転換を、または他行と合併若しくは廃業という選択を迫られた。また普通銀行による兼営も禁止されたため、1920年末で貯蓄業務を兼営していた普通銀行25行は1921年中に貯蓄部を整理する必要があった。再編過程については別稿に譲るが、最終的に新潟貯蓄銀行は単独で存続し、上越・下越地方の兼営貯蓄銀行の貯蓄部門と専業貯蓄銀行を合併した新潟合同貯蓄銀行、新潟銀行の貯蓄部門の分離・独立した新潟興業貯蓄銀行、長岡銀行・六十九銀行の貯蓄部門と旧長岡貯蓄銀行を合併した長岡貯蓄銀行の計3行が新設された（第41表）¹⁷。新潟合同貯蓄銀行は設立段階で新潟貯蓄銀行への合併が予定されており、本店は新潟貯蓄銀行内に置かれ、新潟貯蓄銀行頭取白勢春三が頭取を兼務し、貸付は行われず、全額有価証券・預け金で運用された（第42表）¹⁸。そして大半の専業貯蓄銀行は、貯蓄預金を譲渡ないし整理したあとで普通銀行に転換し、新潟県下では10行の普通銀行が新たに発足した（第43表）。

零細な貯蓄預金を吸収できるか否かは特に中小銀行にとって死活問題であった。多くの銀行では普通銀行転換後に預金が伸び悩むなど経営は不振であった（第44表）。1923年1月に柏崎農商銀行が隣県の長野実業銀行（長野市）へ合併していたのを皮切りに順次県内の銀行との合併の道を辿った。またこ

の間、1927年には「銀行法」が制定され、普通銀行の最低資本金が100万円、猶予期間は施行後5年（1932年末）とされた。政府は中小銀行を整理するために単独増資を認めない方針をとったため、その結果新潟県下では1932年末までに貯蓄銀行から転換した普通銀行はすべて消滅した（大和川銀行のみ新立合併により商号が存続）（第45表）。

第41表 新貯蓄銀行の設立

村上貯蓄銀行	}	新潟合同貯蓄銀行（1921年10月14日）		
三条貯金銀行				
吉田貯蓄銀行				
加茂銀行（貯蓄部）				
寺泊銀行（貯蓄部）				
柏崎銀行（貯蓄部）				
白根銀行（貯蓄部）				
村松銀行（貯蓄部）				
村上銀行（貯蓄部）				
地藏堂銀行（貯蓄部）				
与板銀行（貯蓄部）				
燕銀行（貯蓄部）				
三条銀行（貯蓄部）				
三条信用銀行（貯蓄部）				
北越商業銀行（貯蓄部）				
百三十九銀行（貯蓄部）	}	新潟興業貯蓄銀行（1921年6月16日）		
新潟商業銀行（貯蓄部）			}	長岡貯蓄銀行（1921年10月20日）
六十九銀行（貯蓄部）				
長岡銀行（貯蓄部）	}	長岡貯蓄銀行（1921年10月20日）		
長岡貯蓄銀行（貯蓄預金）				

出所：『第四銀行百年史』、北越銀行『創業百年史』

注：設立年月日は『銀行総覧』記載の日付。

第42表 新潟合同貯蓄銀行主要勘定

単位：円

年末			資本金	払込	積立金	借入金	預金計		諸貸付金	有価証券	預ヶ金	現金	純益金
1期	2期						貯蓄預金						
1921年	下		500,000	125,000	—	—	712,428	712,428	—	162,162	671,605	936	▲2,722
1922年	上		500,000	125,000	37	—	817,138	814,138	—	232,350	683,424	5,700	762

出所：新潟合同貯蓄銀行「決算広告」

第43表 普通銀行への転換

単位：万円

旧銀行名	新銀行名	資本金
長岡貯蓄銀行	長岡商業銀行	100
新潟貯蔵銀行	新潟農商銀行	70
新潟貯金銀行	新潟商業銀行	50
吉田貯蓄銀行	西吉田銀行	30
大和川貯蓄銀行	大和川銀行	25
柏崎貯金銀行	柏崎農商銀行	20
村上貯蓄銀行	村上産業銀行	15
葛塚貯蓄銀行	葛塚銀行	10
高田貯蓄銀行	上越高田銀行	10
三条貯金銀行	三条工商銀行	7

出所：全国銀行協会銀行変遷史データベース
<http://www.zenginkyo.or.jp/library/hensen/>

注：資本金は発足時点。

明治・大正期の地方貯蓄銀行の財務データベース (2)

第44表 普通銀行転換後の主要勘定

単位：円

年末	三条工商銀行				村上産業銀行				上越高田銀行			
	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金
1922年	70,000	897,101	627,769	21,515	112,500	1,932,135	1,223,971	14,829	100,000	257,684	278,683	—
1923年	70,000	898,669	748,172	…	112,500	1,756,248	1,098,946	22,144	100,000	239,566	273,321	—
1924年									100,000	224,895	251,321	—
1925年									100,000	212,817	197,904	—

年末	新潟商業銀行				葛塚銀行				長岡商業銀行			
	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金
1922年	265,000	528,356	716,643	24,965	62,500	245,182	235,232	3,368	825,000	1,657,916	2,726,310	60,391
1923年	382,500	629,095	898,888	40,635	62,500	222,513	217,344	3,318	825,000	1,437,164	2,617,445	…
1924年	500,000	719,196	1,162,093	48,245	62,500	262,492	211,553	3,141	825,000	1,492,656	2,623,360	…
1925年	500,000	816,708	1,260,425	53,443	62,500	233,537	198,076	5,800	825,000	1,669,365	2,761,816	69,402
1926年					62,500	173,402	172,048	6,425	825,000	2,171,997	2,928,682	62,218
1927年									825,000	2,197,580	2,913,400	57,103
1928年									825,000	2,501,947	3,211,930	44,606

年末	西吉田銀行				新潟農商銀行				大和川銀行			
	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金	払込資本金	預金	貸付金	純益金
1922年	150,000	448,969	493,138	10,898	697,720	277,831	385,448	—	250,000	412,040	540,248	23,944
1923年	150,000	342,148	603,315	13,516	697,720	…	…	…	250,000	395,332	653,180	…
1924年	150,000	490,767	631,260	14,424	700,000	…	…	…	250,000	416,932	688,955	24,258
1925年	150,000	474,089	707,417	25,657	700,000	258,623	326,165	—	250,000	452,058	798,974	24,497
1926年	150,000	438,737	834,239	31,204	700,000	250,584	321,597	—	250,000	441,444	832,648	28,494
1927年	150,000	400,476	755,743	30,089	700,000	250,084	317,247	—	250,000	436,097	836,191	27,544
1928年	150,000	389,901	654,404	—	700,000	250,084	313,182	—	312,500	382,863	878,730	29,622
1929年									312,500	361,013	847,747	29,362
1930年									312,500	338,946	856,088	30,153
1931年									312,500	360,834	880,080	29,019

出所：各期「決算広告」、大蔵省『銀行局年報』。

注：三条工商銀行の1923年は上期の数値。

第45表 普通銀行転換後の動向

年	事 項
1923年	柏崎農商銀行, 長野商業銀行 (長野県) と合併 (1月)
1924年	三条工商銀行, 三条銀行と合併 (1月) 村上産業銀行, 村上銀行と合併 (6月)
1926年	上越高田銀行, 安塚銀行と合併 (1月) 新潟商業銀行, 新潟銀行と合併 (10月)
1927年	葛塚銀行, 新潟銀行と合併 (4月)
1928年	長岡商業銀行, 六十九銀行と合併 (12月)
1929年	西吉田銀行, 第四銀行と合併 (2月) 新潟農商銀行解散 (8月)
1932年	大和川銀行, 岩東銀行と合併し大和川銀行を新立 (1月)

出所：第43表と同じ。

おわりに

以上、冒頭で掲げた基礎資料をもとに「貯蓄銀行条例」期に新潟県下に存在した13行の貯蓄銀行および普通銀行転換後の財務データを紹介した。本稿で利用した興信所資料や新聞の決算広告などは単独で利用するのは困難な資料といえるが、複数のデータと組み合わせることでより多くの有用な情報を引き出すことができる。上述のようにここで紹介した零細な貯蓄銀行は新潟貯蓄銀行を除いて1922年の「貯蓄銀行法」施行により、最終的には新潟貯蓄銀行（1922年に新潟合同貯蓄銀行を合併）、新潟興業貯蓄銀行、長岡貯蓄銀行の三行に再編成された。三行はそれぞれ白勢春三家を中心とする第四銀行、斎藤喜十郎家を中心とする新潟銀行、長岡市所在の六十九・長岡銀行という県内の有力地方銀行を事実上の親銀行とし、最終的に1943年の「貯蓄兼営法」により、同年12月に長岡貯蓄銀行が長岡六十九銀行（1943年12月長岡銀行・六十九銀行新立合併）に、1944年11月に新潟貯蓄銀行と新潟興業貯蓄銀行が第四銀行に合併された。なお「貯蓄銀行法」施行以後の三行の分析に関しては別稿で行う予定である。

【付記】

本稿作成にあたり、株式会社北越銀行資料室、新潟市立中央図書館（ほんぽーと）、新潟県立文書館、新潟県立中央図書館のお世話になりました。特に北越銀行資料室では百年史編さんの際に収集した営業報告書、新潟新聞の決算広告の切り抜きを閲覧させていただきました。末筆ながら感謝の意を表します。

- 1 第四銀行編『第四銀行百年史』1974年、695-696頁、新発田市史編纂委員会編『新発田市史』下巻、1981年、334-337頁。
- 2 商業興信所『日本全国諸会社役員録（第7回）』、435、449頁。
- 3 『第四銀行百年史』769頁。
- 4 『第四銀行百年史』734頁。
- 5 吉田町編『吉田町史』通史編下巻、2002年、152-153頁。
- 6 『第四銀行百年史』735頁。
- 7 『第四銀行百年史』788-789頁。
- 8 中野家の事業については、伊藤武夫「鉱業（石油）財閥」（渋谷隆一・加藤隆・岡田和喜編『地方財閥の展開と銀行』日本評論社、1989年）を参照。
- 9 『第四銀行百年史』725-726頁。
- 10 北越銀行編『創業百年史』1980年、430頁。
- 11 「中越貯金銀行の臨時休業」（『銀行通信録』第55巻第330号、1913年1月20日）、「中越貯金銀行の破産命令」（『銀行通信録』第55巻第330号、1913年4月20日）。
- 12 『創業百年史』170-171頁。
- 13 『第四銀行百年史』697頁。
- 14 『創業百年史』430-431頁、「長岡貯蓄銀行の設立」（『銀行通信録』第64巻第386号、1917年12月20日）。
- 15 麻島昭一「新潟県信託業の成立と発展—新潟信託を中心として—」『信託』第135号（1983年8月）。
- 16 進藤寛「地方貯蓄銀行の再編成—一県一行主義と分業主義による—」（朝倉孝吉編『両大戦間における金融構造』御茶の水書房、1980年）
- 17 早川大介「貯蓄銀行立法と地方貯蓄銀行群の形成・再編—新潟県を事例に—」『地方金融史研究』第41号（2010年5月）
- 18 『第四銀行百年史』713頁、「本日創立の合同貯蓄について」（『新潟新聞』1921年10月14日）。